

骨太方針(仮称)素案のポイント

～「再生の10年」に向けた今後の経済財政運営及び基本戦略～

- 相互に補強し合う関係にある「三本の矢」(アベノミクス)を一体的に推進。市場の期待は大きく変化、実体経済面でも景気は持ち直し。
- 成長戦略をはじめとして、本方針に掲げた重要政策を今後長期にわたり着実に推進し、デフレから早期脱却し日本経済を再生することを“コミット”。また、そうした政策実行の先に目指すべき経済社会の姿及びその道筋を明示。

停滞の20年

- ・ 長期の景気低迷・デフレ
- ・ 構造変化への対応の遅れ
(マクロ(景気)とミクロ(構造問題)の相乗的悪化)
- ・ 高水準の公的債務残高等

- ・ 名目GDP成長率 ▲ 0.2%
- ・ 実質GDP成長率 0.8%
- ・ 実質国民総所得成長率0.6%

第一の矢 大胆な金融政策

第二の矢 機動的な財政政策

第三の矢 民間投資を喚起する成長戦略

再生の10年

【強い日本、強い経済、豊かで安全・安心な生活】

- ・ 自由で公正な競争、オープンな経済環境が確保され、グローバルに魅力のある経済社会
- ・ 豊かな生活を実現できる経済社会
- ・ 多様な担い手が参加し、活力と知恵を生み出す経済社会
- ・ 長期的に持続可能な(サステナブルな)経済社会

【マクロ経済の姿】

- ・ 中長期的に2%以上の労働生産性の向上、賃金の伸びが物価上昇率を上回る
- ・ 名目GDP成長率3%程度、実質成長率2%程度、2010年代後半にはより高い成長。その下で、1人当たり名目国民総所得は中長期的に3%を上回る伸び、10年後には150万円以上拡大。

三つの好循環の起動

マクロ経済環境の好転

構造面の改革進展がマクロ経済をさらに改善

マクロ経済の好転が企業等の決断に結びつく

成長戦略の推進

企業業績改善

消費の拡大

持続的成長を実現する

投資拡大

雇用・所得の増加

経済再生

長期金利が急上昇するリスクに対応、個人消費や投資の拡大を促進

増収増税などを通じて財政健全化に貢献

財政健全化